

[省令第8条の4の5（1,000トン以上排出事業者用）]

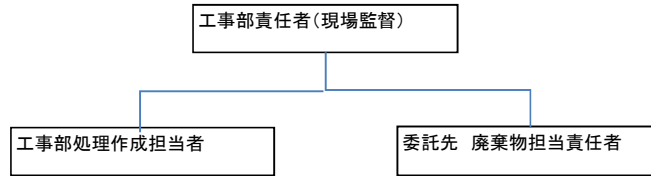
様式第2号の8（第8条の4の5関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6 年 6 月 21 日	
(宛先) 長野市長 荻原 健司 様	
提出者	
住 所 長野市新田町1464番地	
氏 名 東邦建工株式会社	
代表取締役 増子 桂介	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 026-264-5555	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	東邦建工株式会社
事業場の所在地	長野市新田町1464番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	令和5年度 年商50億円
③ 従業員数	98名
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	各排出現場 → 委託運搬処理 → 委託中間・再生・焼却処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く	水銀使用製品 廃棄物	建設混合廃棄物(安定型、管)
	排 出 量	165.37t	187.41t	220.35t	153.76t	1.68t	224.15t
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	繊維くず	金属くず			
	排 出 量	204.47t	0.97t	6.52t			
	(これまでに実施した取組) 分別の徹底						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く	水銀使用製品 廃棄物	建設混合廃棄物(安定型、管)
	排 出 量	130.00t	150.00t	175.00t	120.00t		180.00t
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	繊維くず	金属くず			
	排 出 量	160.00t	0.50t	5.00t			
	(今後実施する予定の取組) 全体として20%の削減目標設定、引き続き分別の徹底						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 再生利用できる物は分別する取組を図る

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール等)	紙くず	木くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず	水銀使用製品 廃棄物	建設混合廃棄 物(安定型、管理 型)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト等)	繊維くず	金属くず			
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) 特に無し						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール等)	紙くず	木くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず	水銀使用製品 廃棄物	建設混合廃棄 物(安定型、管理 型)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト等)	繊維くず	金属くず			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) 再生利用できる物は分別する取組を図る						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール等)	紙くず	木くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず	水銀使用製品 廃棄物	建設混合廃棄 物(安定型、管理 型)
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト等)	繊維くず	金属くず			
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール等)	紙くず	木くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず	水銀使用製品 廃棄物	建設混合廃棄 物(安定型、管理 型)
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト等)	繊維くず	金属くず			
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) 特に無し							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	紙くず	木くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く	水銀使用製品廃 棄物	建設混合廃棄物 (安定型、管理
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	繊維くず	金属くず			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) 特に無し						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	紙くず	木くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く	水銀使用製品廃 棄物	建設混合廃棄物 (安定型、管理
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	繊維くず	金属くず			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) 特に無し						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 5年度）実績】						
産 業 廃 棄 物 の 種 類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール等)	紙くず	木くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず(石膏ボード等)	水銀使用製品廃 棄物	建設混合廃棄物 (安定型、管理 型)
全 処 理 委 託 量	165.37t	187.41t	220.35t	153.76t	1.68t	224.15t
優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量						
再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量						
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量						
認定熱回収業者以外の熱回収を 行 う 業 者 へ 処 理 委 託 量						
産 業 廃 棄 物 の 種 類	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト、レンガ)	繊維くず	金属くず			
全 処 理 委 託 量	204.47t	0.97t	6.52t			
優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量						
再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量						
認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量						
認定熱回収業者以外の熱回収を 行 う 業 者 へ 処 理 委 託 量						

①現状

(これまでに実施した取組)
特に無し

【目標】						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡スチロール含)	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード)	水銀使用製品 廃棄物	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
全処理委託量	130.00t	150.00t	175.00t	120.00t		180.00t
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	繊維くず	金属くず			
全処理委託量	160.00t	0.50t	5.00t			
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
(今後実施する予定の取組) 処理委託先への指示徹底						

②計画

※事務処理欄

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類（実績値・計画値）												合 計
		廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチ)	紙くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	水銀使用製品廃棄物	建設混合廃棄物(安定型、管埋型)	がれき類(コンクリがら、廃アスファ	繊維くず	金属くず				
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	165.37t	187.41t	220.35t	153.76t	1.68t	224.15t	204.47t	0.97t	6.52t				1,164.68t
	本年度排出量(計画)	130.00t	150.00t	175.00t	120.00t		180.00t	160.00t	0.50t	5.00t				920.50t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	165.37t	187.41t	220.35t	153.76t	1.68t	224.15t	204.47t	0.97t	6.52t			1,164.68t
		本年度計画(目標)	130.00t	150.00t	175.00t	120.00t		180.00t	160.00t	0.50t	5.00t			920.50t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。